

# 湖岸の水生物観察

琵琶湖岸で観察用具を使い、水辺にすむ生き物を観察する。



## 準備物（船内から）

救命胴衣 ザル 水中観察めがね バット ルーペ  
生き物ワークショップー式 デジタル図鑑  
図解ハンドブック（滋賀の水生昆虫・滋賀の水生動物）

## （乗船校から）

濡れてもよい服装・ビーチサンダル

- 問題** 湖岸にはどんな水生生物（昆虫や貝、水草など）がいるのだろうか？
- 予想** 地域の川とは違った水生生物がいる。
- 観察** 観察用具（水中観察めがね、ルーペなど）やデジタル図鑑、図解ハンドブックを使って、採取した水生生物を調べる。湖岸の様子（ヨシ群落など）にも目を向ける。
- 結果** 数種類の昆虫や貝がいた。水草も生えていた。水草には、外国から来た種類もあった。
- 考察** 固有種や外来種など、琵琶湖には数多くの生物がいる。観察できた水生生物によって水の汚れ具合も分かる。
- まとめ** ワークショップにより生き物に適した湖岸環境を考える。琵琶湖の環境の変化が生物に大きな影響を与える。